様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

平成　３０年　６月２５日

枚方市長　　殿



提出者　　大阪府枚方市池之宮4丁目17番1号
住　所　日本精線株式会社 枚方工場
氏　名　執行役員　枚方工場長　　髙橋　一朗
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　072(840)1261

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本精線株式会社 枚方工場
事業場の所在地	大阪府枚方市池之宮4丁目17番1号
計画期間	平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	２４　金属製品製造業
②事業の規模	平成２９年度の製品出荷額 ３５２億円
③従業員数	５８６人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

前年度　【平成　２９年度】実績

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）

・使用薬剤の更新周期延長を図る。
・紙屑，廃プラ類の有効利用（再生紙，固形燃料）
・金属屑，廃油の有価買取

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・廃酸の再利用
・廃水の再利用
・廃油の再利用

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・廃棄製品を分別し、リサイクル化 ・紙屑を分別し、リサイクル化 ・廃プラスチックを分別し、リサイクル化
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状を継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

前年度　【平成　２９年度】実績		
産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
再生利用方法，再生技術の探索，評価

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
現状を継続

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

前年度　【平成　２９年度】実績		
産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
・廃酸，廃水を社内で中和及び脱水後、残渣（汚泥）を社外処理。

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
現状を継続

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

前年度　【平成　２９年度】実績

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
実績無し。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
予定無し。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

前年度　【平成　２９年度】実績

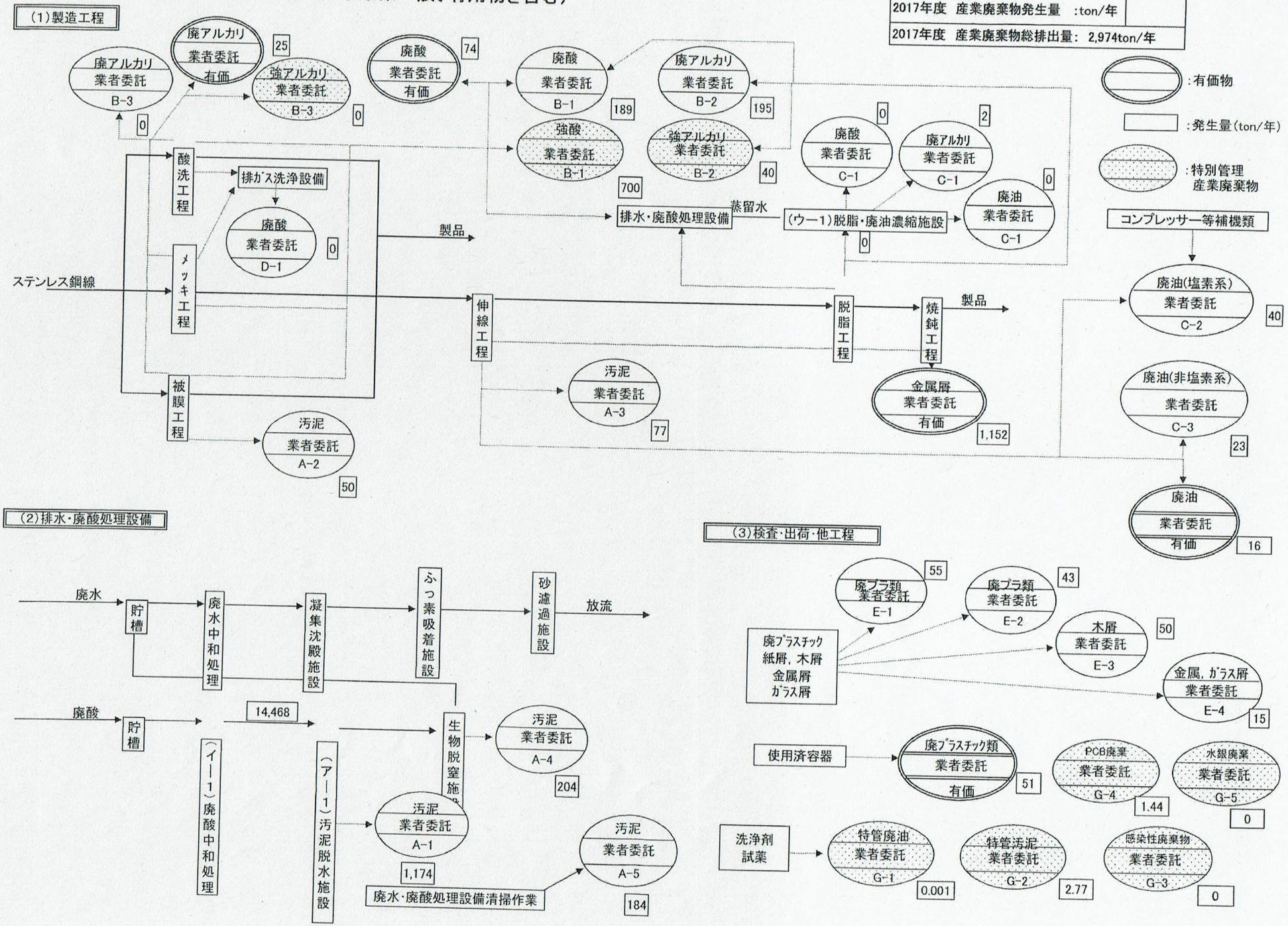
産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t

（これまでに実施した取組）
・無機汚泥の一部を有効利用（路盤材）業者へ委託。
平成29年度：776ton
・有機汚泥の一部を有効利用（肥料）業者へ委託。
平成29年度：41.4ton
・廃プラスチックを有効利用業者へ委託。
平成29年度：42.8ton
・木屑の全量を有効利用業者へ委託。
平成29年度：49.6ton
・優良認定処理業者への処理委託優先

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組）
・大同ｸﾞﾙｰﾌﾟ内での優良取引事業者の探索</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

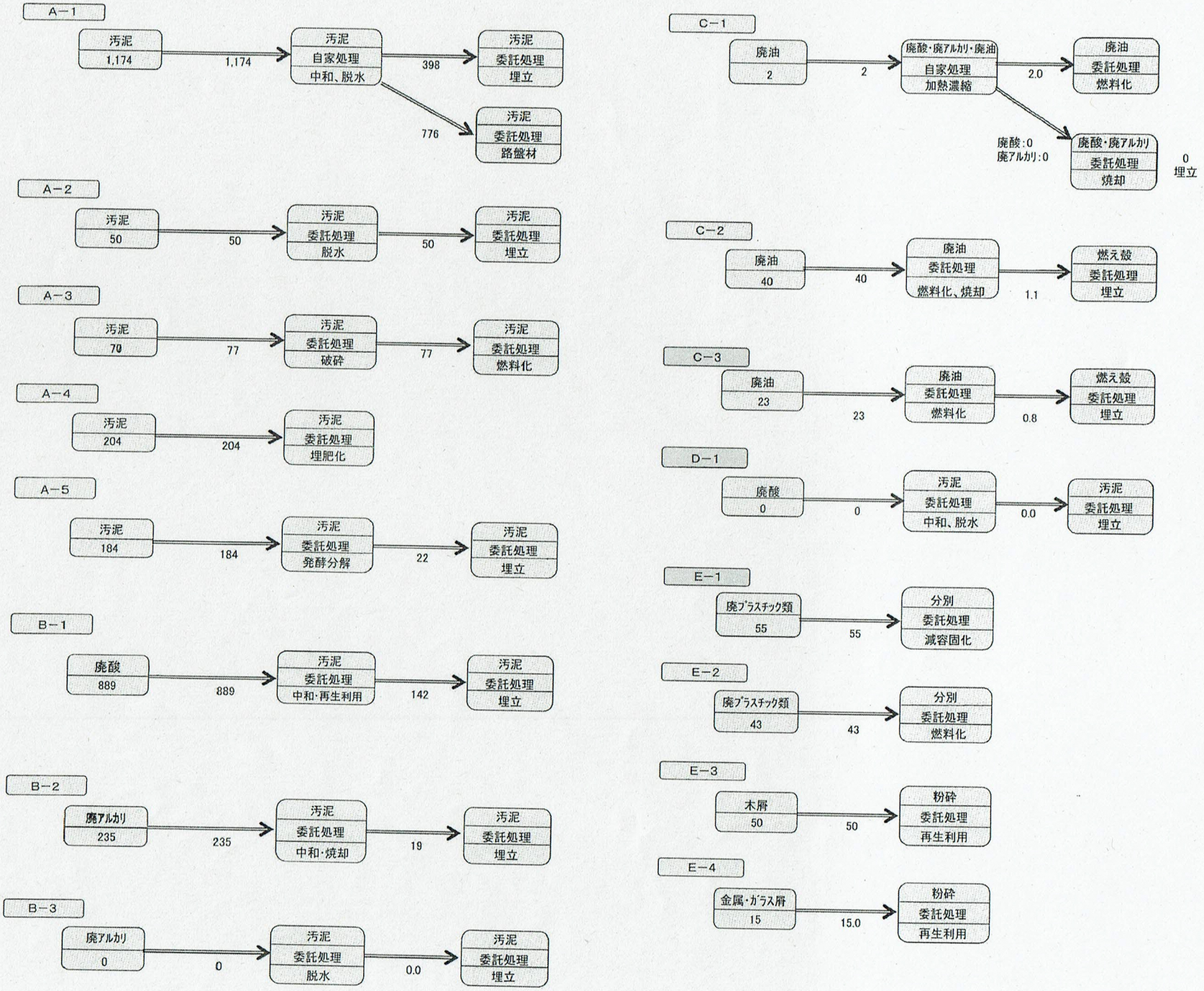
2017年度発生工程フロー図(特別管理、事業系一般、有用物を含む)

2017年度　産業廃棄物発生量　:ton/年	
2017年度　産業廃棄物総排出量: 2,974ton/年	



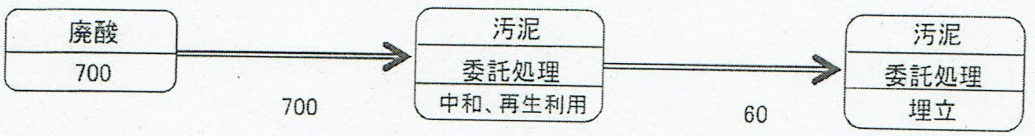
2017年度産業廃棄物処理工程フロー図

2018/6/22

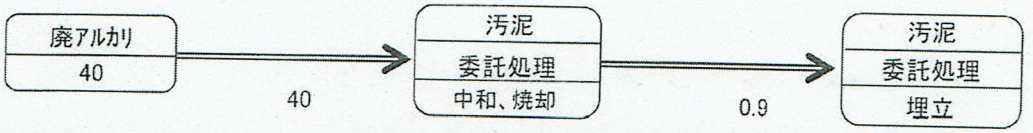


2017年度処理工程フロー図

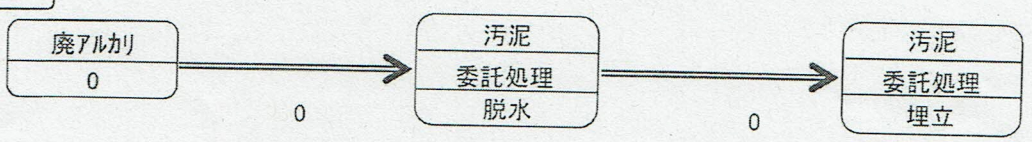
B－1



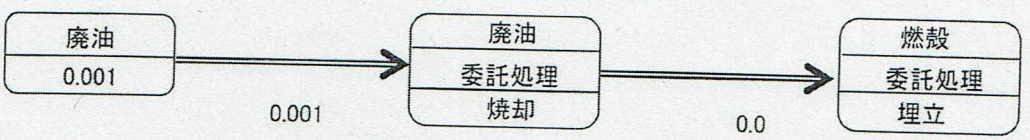
B－2



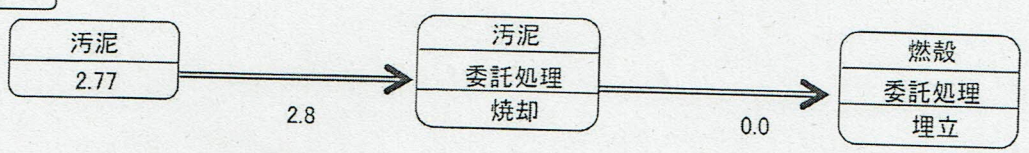
B－3



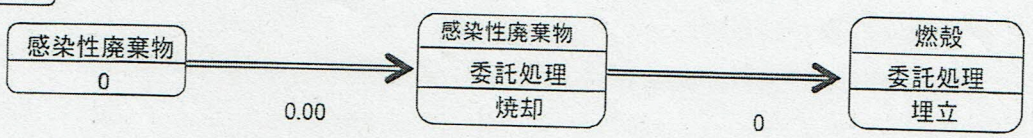
G－1



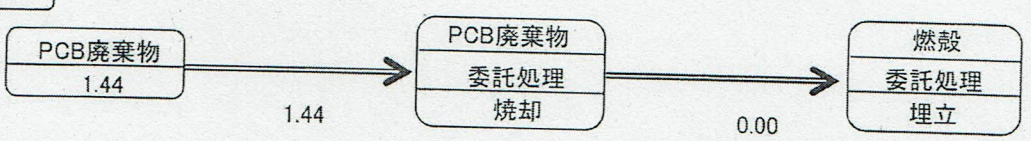
G－2



G－3

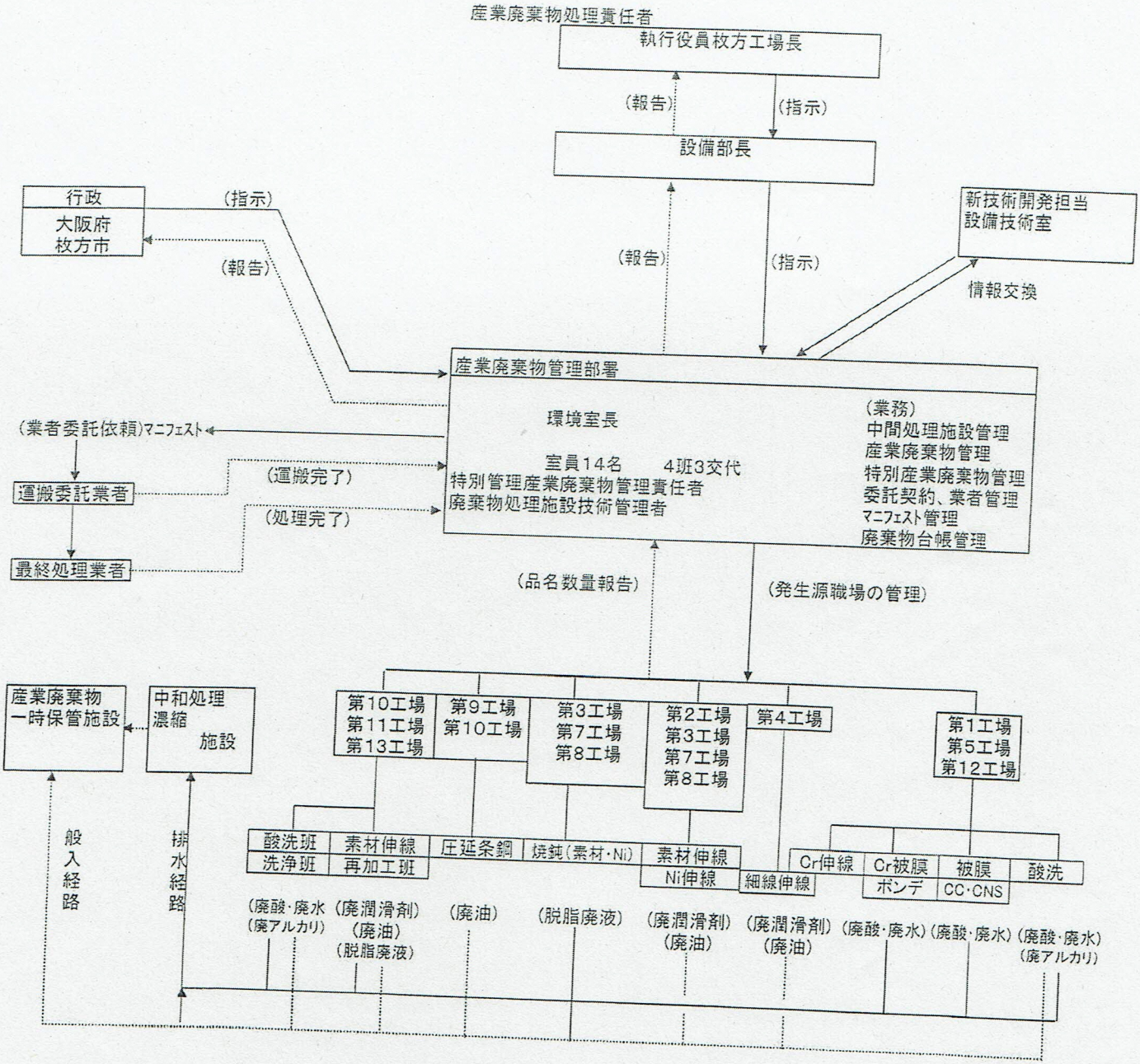


G－4



日本精線株式会社枚方工場
産業廃棄物管理組織図

作成　2001/04/02
改訂　2017/04/1
日本精線株式会社枚方工場
設備部　環境室　作成



今　年　度　【平 成 29 年 度】　目　標

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を恒常的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を恒常的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府枚方市招之宮4－17－1	日本積層株式会社 枚方工場	技術部		072(840)1344	072(840)1374	e_shimada@nissoukk.co.jp

入力用セル

| 産業廃棄物の種類 | | 1年間の実績状況 | | | | | |

産　業　廃　棄　物　処　理　計　画　実　施　状　況　報　告　書　の　〔別　紙〕

数値入力セル

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府枚方市池之宮4－17－1	日本精線株式会社 枚方工場	設備部		072(840)1364	072(840)1374	e_okuma@nt-seisen.co.jp

産業廃棄物の種類		計画の実施状況																		
コード	名　称	①排出量 (t)	②自ら直接再生利用した量 (t)	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤④のうち熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理した後再生利用した量 (t)	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量 (t)	（⑩＝①-②-③-④+⑥-⑧-⑨＝⑩+⑪+⑫+⑬+⑭）						⑪優良認定処理業者への処理委託量(t)	②+⑧自ら再生利用を行った量(t)	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)
												委託先による区分								
コード参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑪再生利用業者への処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処理委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)	⑪の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑪、⑭除く)	⑫の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑭の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑪～⑭を除く)	⑮の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑯の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑧の量を合計したもの（自動計算）	③の量と⑨の量を合計したもの（自動計算）
1	220 ①汚泥	14,696			14,468		1,174	13,294			1,402	776			151	398		0	0	
2	210 ②汚泥	287						0			287	204			101			0	0	
3	400 ③廃酸	189						0			189				189			0	0	
4	500 ④廃アルカリ	195			0		0	0			195				195			0	0	
5	311 ⑤廃油	64						0			64	9			54			0	0	
6	600 ⑥廃プラスチック	98						0			98	43			55			0	0	
7	800 ⑦木屑	50						0			50	50						0	0	
8	1200 ⑧金属屑	15						0			15	0			15			0	0	
9	1310 ⑨ガラス屑	1						0			1	0						0	0	
10	⑩							0			0							0	0	
11	⑪							0			0							0	0	
12	⑫							0			0							0	0	
13	⑬							0			0							0	0	
14	⑭							0			0							0	0	
15	⑮							0			0							0	0	
16	⑯							0			0							0	0	
17	⑰							0			0							0	0	
18	⑱							0			0							0	0	
19	⑲							0			0							0	0	
20	⑳							0			0							0	0	
	合計	15,594	0	0	14,468	0	1,174	13,294	0	0	2,300	1,083	0	0	760	398	0	0	0	

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。